

会 議 録

会 議 の 名 称	第4回茨木市提案公募型公益活動支援事業評価委員会
開 催 日 時	令和5年4月21日(金) (午前・午後) 5時00分 開会 (午前・午後) 7時40分 閉会
開 催 場 所	茨木市役所 南館8階中会議室
議 長	河合 将生 氏 (office musubime 代表、NPO組織基盤強化コンサルタント)
出 席 者	【評価委員】 河合将生氏 (NPO関係者)、藤原直樹氏 (学識経験者)、桜井政成氏 (学識経験者) 高田和子氏 (地域活動関係者)、板倉幸司氏 (公募市民) (5人) 【事務局】 向田共創推進課長、吉田共創推進課市民活動グループ長、松井 (3人) 【担当課】 文化振興課、こども政策課、障害福祉課、危機管理課、環境政策課 (5課)
開 催 形 態	原則公開
議 題 (案 件)	(1) 概要説明および会議の公開・非公開の決定 (2) 提案者によるプレゼンテーション及び質疑応答
配 布 資 料	・第4回茨木市提案公募型公益活動支援事業評価委員会次第 ・令和5年度 チャレンジいばらき補助金申請事業一覧 ・応募関係書類 (個人情報を含むため省略)

議 事 の 経 過	
発言者	議 題（案 件） ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
事務局	開会及びあいさつ
河合委員長	公開・非公開の決定について（原則公開・会議録は要点筆記） 本日の会議の概要説明 ----- プレゼンテーション開始 -----
団体	【自由テーマ型】 ジョージ・ハリオノピアノ・リサイタル -INUI MUSIC SAON 国際交流事業 vol.1- INUI MUSIC SAON
関連課	【関連課 意見】 【質疑応答】
藤原副委員長	・補助金を使って事業を行う意義は。音楽へのハードルを下げる、なのか、後につながる何かがあるのか →ピアノを外部から運び込んで事業を実施することで、提供できる音楽のクオリティが上がると考えている。
板倉委員	・補助事業の波及効果は、音楽の質を上げること以外にあるか。 →コンサートだけでなく、音楽を目指している子に対して間近に音楽に触れられる機会を提供できればと思うが、ビザの問題もあるため、今後検討したい。
団体	【自由テーマ型】 心的心声をアートで表現する ICO-IBA(虹色部)
関連課	【関連課 意見】 【質疑応答】
河合委員長	・事業を計画するにあたって参考にした活動はあるか。 →市内ではにじいろスペース。他、他府県へ講演会に話を聞きに行っている。トランスジェンダーの小中学生同士が繋がるということが難しく、それを提供できる場作りをしたいと思った。 ・小中学生とつながる方法は。 →SNS や口コミがメイン。発信の仕方が課題。
板倉委員	・いきづらさを抱えた人を対象とした事業なのはわかるが、具体的に何をしようと計画しているのか、やることが抽象的でわかりづらい。 →子どもたちからアートを題材としたいという声がありテーマは決めたが、具体的に何をしていくかは今後話し合って決めていきたい。

団体	【自由テーマ型】 障がい者を中心とした音楽・ダンスなど芸術発表のできるイベントの開催 ここあミュージックサロン
関連課	【関連課 意見】
桜井委員	【質疑応答】 ・活動の成果を誰が見せていくのか。障害者支援施設等との協力は考えているのか。計画性が見えない。 →コンクールなどに出てもらうことが目標。以前イベントを主催した際にイラストを描いてくれた人が障害者支援施設に出入りしているので、そういった施設とも連携したい。
板倉委員	・イベントの内容が分かりづらかった。 →イラストレーターの作品展示、障害者もできる手作り体験レッスン、ヒップホップのダンス発表会、障害者の演奏グループ、フラダンス、幼稚園児を中心としたグループの発表。集客は300名程度を見込み、前回開催時よりもPR方法としてSNSやチラシを増やす予定。
河合委員長	・今までのイベント開催でできなかったことを今回実現させる形なのか。 →今までは会費のみで賄われていたが、きちんとした環境で表現させてあげたい。
桜井委員	・今まで共益的に行われていたものを、いかにより多くの市内の障害を持った方が自己実現できる場としていくか、という工夫が必要だと考える。
団体	【自由テーマ型】 玉島地区の歴史の歌唱を掘り起こし防災意識を高める事業 がんばろう！つばさネットワーク
関連課	【関連課 意見】
桜井委員	【質疑応答】 ・今回掘り起こしたいのはミュージカルか。 →11曲入っているミュージカル、舞台劇のようなもの。その中に川の氾濫等の非常事態を知らせるようなシーンが入っているという構成。 ・今回は伴奏を作るだけなのか？ →その通りである。主旋律はすでに起こしたが、伴奏があつて初めて楽譜になる。演奏になって初めて劇や吹奏楽などの発表等もできるようになる。今年は楽譜に起こすところまでやりたい。
河合委員長	・何年計画で考えているのか。 →最短で3年はかかると考えている。
藤原副委員長	・ピアノ伴奏のニーズはあるのか？ →玉島をはじめとした南部にはニーズがあると思う。その他の地域はすべての学校に配布するのではなく、図書館等に設置し、需要に応じて使用してもらう形にした

団体	い。 【自由テーマ型】 次世代に残したい伝統の味・技・技術を伝える講習会 特定非営利活動法人地球環境再生機構 【関連課 意見】 【質疑応答】
河合委員長	・事業への補助なので、団体の1年分のホームページ運営費を計上するのは違うと考える。事業周知にかかる分にのみ補助金を使って欲しい。 →承知した。
板倉委員	・1度にどれくらいの人数参加か。 →50名（10数組の家族）を予定している。
藤原副委員長	・採択されなかった場合は →材料費を含めた参加料にすることで賄う
高田委員	・部屋の使用量の積算は正確か？ →確認したところ、現在記載しているものは正確ではない。採択時には修正する。
団体	【自由テーマ型事業】 いばらきコットンプロジェクト エシカリズム
関連課	【関連課 意見】 【質疑応答】
板倉委員	・無料で配布するのか。 →まだコットンをうまく育てられる自信がないため無料とする。SNSでの周知を行い、渡した人にはオープンチャットに参加してもらう等により、渡したきりにしないようにする。
河合委員長	・スタッフTシャツに入れる文言は決まっているのか。 →伝えたいメッセージである「コットンを大切に」といった内容で考えている。 【連携型事業】 茨木市「条件付特定外来生物の普及啓発活動」 川いい会
関連課	【関連課 意見】 【質疑応答】
桜井委員	・配布するのは印刷物のみなのか。 →以前、環境政策課にPDFデータを市HPで掲載してもらった。今年度はこれから

板倉委員	依頼する。小学校の先生向けにも配布を考えている。
河井委員長	・ 標本を作った後、それを PR する場合は？ → 環境フェアで紹介する。
団体	・ 標本という啓発活動のツールを作ることにより、どうなってほしいのか？ → 興味を持ってもらい、捕まえたとしても離さず育ててほしい。
関連課	【自由テーマ型事業】 「木育」チャリー博士と一緒にロボ木ーを作ろう！ 特定非営利活動法人さんさんごご
河合委員長	【関連課 意見】 【質疑応答】 ・ 今まで行ってきた事業との違いは。 → 今までも木育を行ってきたが、ロボ木ーという題材は環境問題に焦点を当てたもの。地球温暖化防止を啓発する要素が今までより強くなっている。
河合委員長	・ 講座への参加者は親子 40 組だが、そこからの広がり。 → 参加したこどもの親が、生活の中で環境に配慮するようになり、その様子を自身のインスタグラムに上げている姿を見かける。そう言ったところから他への波及があるのではと感じる。
河合委員長	他に意見はないか。以上でプレゼンテーションを終了する。 事務局から連絡事項はないか。
事務局	次回は、4 月 23 日、午後 2 時から、市役所南館 8 階で開催予定。
河合委員長	以上で、第 4 回茨木市提案公募型公益活動支援事業評価委員会は閉会とする。